

ユニオンファンド 月次レポート

第158号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2022年1月7日作成

MONTHLY TOPIC

予想より実践。継続こそ力

年初の株価予想

明けましておめでとうございます。年の初めということもあって、恒例とも言うべき「今年の株価見通し」があちこちで語られています。いろいろ考えを巡らせた方もいらっしゃるかもしれませんが、私もあれこれ読み散らかしましたが、予想通り、見方は実に様々でした。中でもおもしろかったのは、「年初に下がってから年末に向けて上がる」と予想する人がいる一方で、「前半こそが稼ぎ時であり、夏場以降は逃げるべきだ」との見通しを述べる人もいたことです。これほど正反対の予想を聞けば、読者はさぞ悩むことでしょう。

もっとも、仮に全員の考えが全く同じだったら、それはそれで要注意です。誰もが上がると思っているなら、おそらくはすでに皆さん買った後であり、今後買える人はほとんどいないということかもしれないからです。そうであるなら、株価は全員一致の予想とは正反対の動きを見せ、つまりは下がってしまうでしょう。予想がバラバラでは判断が難しく、全員一致はかえってはずれる可能性が増すとは…。相場の神様はちょっといじわるです。

正しく予想できなければ「手も足も出ない」？

そんなわけで、「今年の株価のことはわかりません」というのが一番マシな答えだと結構まじめに考えています。予想できないのに投資などできるのかと思われるかもしれませんが、そうとは限りません。

つみたて投資の場合ですと、下がってから上がれば、安い時にたくさん買えるので大成功です。しかし逆に上がってから下がると、平均購入単価が今年の年末の値段を上回ります。早い話が1年かけて結局は損した、ということになってしまいます。でも、これは決して失敗とは言えません。なぜなら、そもそも私たちの投資のゴールは今年の年末ではなく、もっと先にあるからです。

コツコツと買い続け、もし下がっても売らず、できることなら買い増しする。下がらなかったとしても、そのまま買い続ける。これを何年も何年も継続する…。これこそが、当たらない予想などに頼らない、誰にでも実践できる優れた財産づくりの方法だと思います。ゴールは遥かかなたであり、結果も確かではないですから、不安に駆られることもあるかもしれませんが、決してやめることなく、私たちと一緒に今年も頑張っていきましょう。

セミナーのおしらせ

「そうは言うけどやはり気になるなあ、迷うなあ、心配だなあ」という方のために、セミナーを開催します。詳細は最終9ページ目に掲載しておりますので是非ご覧ください、ふるってご参加ください。お待ちしております。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2021年12月末現在)

基準価額

31,062円

純資産総額

100億93百万円

期間別騰落率(%)

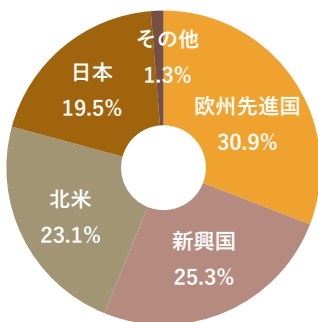
1ヶ月	3.74%
1年	13.17%
3年	46.20%
5年	42.69%
10年	174.91%
設定来	210.62%

複利年率(%)

8.96%

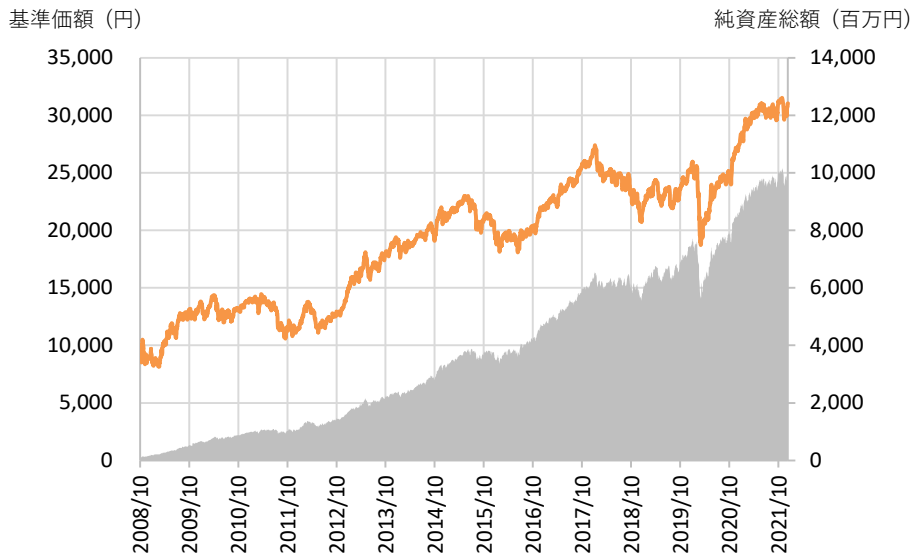
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2021年11月末現在)

基準価額と純資産総額の推移



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.3%	4.3%
スパークス F	日本	11.7%	3.5%
キャピタル F	欧米	18.0%	5.1%
ハリス F	欧米	19.1%	5.5%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	11.6%	6.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	20.6%	2.5%
現金等	-	13.6%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2021年12月の市場動向と運用状況

投資環境

世界の株価は、昨年11月末から12月初めにかけて、新型コロナウイルスの変異種であるオミクロン株の拡大を懸念し、やや大きく調整しましたが、オミクロン株は重症化しにくいとの報道を受けて反発しました。その後、米国FRB（連邦準備制度理事会）は、量的緩和の縮小（テーパリング）と政策金利であるFF金利の引き上げを加速させる方針であることを示しました。金融緩和の終了は企業業績と株価にマイナスとの見方から中旬に再び下落しました。しかし月末に向けては、中国の中央銀行である人民銀行が預金準備率を引き下げたことや、米国景気指標の好調などを背景に上昇に転じるといった具合で、目まぐるしい展開となりました。

この間、デルタ株を含めコロナ感染症は世界的に拡大が続き、欧州では景気が総じて軟調に推移しました。日本では、感染者数の減少による経済活動再開の動きが広がり、景気は改善に向かいました。

為替市場ではドル高円安が目立ちました。米国の利上げスケジュールがより具体的になってきた一方、日本の金利が上昇する可能性はかなり低いと予想されているためと見られます。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は世界の株価の反発を受けて上昇し、11月の下落分をほぼ取り戻しました。売買については、スパークスFを若干買い増しました。日本株の動きが相対的に鈍かったうえに、日本ではこのところ小型株が大型株に劣する動きが続き、割安度が増してきたと判断したためです。月末時点の組入比率は、買い増しと組入ファンドの値上がりにより86.4%となり、前月末より若干上昇しました。

今後の見通し

このところの物価上昇は、原油などエネルギー価格の高騰に加え、コロナ禍によるサプライチェーン（供給網）の混乱が尾を引いてモノの供給が滞っていることによる面がかなり大きいと見られます。一時コロナ感染が落ち着いた際には、物価上昇も早晚解消されると期待されましたが、混乱は予想以上に長期化しており、それによって物価上昇も継続しています。こうした状況を見て、さすがに各国中央銀行も金融政策を引き締め側にシフトせざるを得なくなっています。少なくともコロナ禍による経済へのダメージを緩和するための超緩和策に関しては、多くの国で縮小の方向に舵が切られたと考えてよさそうです。

オミクロン株は感染力が極めて強い半面、重症化・死亡リスクがデルタ株など他のウイルスに比べかなり低そうであることはプラス材料です。コロナ感染が収まればサプライチェーンの修復や人手不足の解消が進み、物価も徐々に緩和され、金融政策にも良い影響をもたらされる可能性があります。景気も回復度合いを強めるでしょう。コロナ禍がどう推移するかは予断を許しませんが、投資家はどちらかと言えばこうしたプラス面を見始めているようです。世界の株価が総じて堅調な動きを続けてきたのはこのためと思われる。

とはいえ、当面はオミクロン株をはじめとしたコロナ感染の急拡大がどう収まるか、また、物価がどう推移するか、米欧の中央銀行がテーパリングや利上げをどう進めるか、といった不確定要因によって株価が揺れ動く可能性が大きいと予想しており、状況により柔軟な対応も心がけてまいります。

運用責任者 久保田徹郎

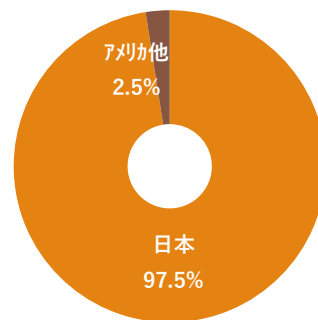
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



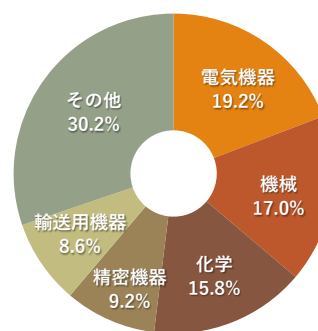
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	5.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 ダイキン工業	5.1%	日本	機械	エアコン世界首位
3 浜松ホトニクス	4.2%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
4 信越化学工業	4.2%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
5 テルモ	3.9%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
6 ブリヂストン	3.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界大手
7 トヨタ自動車	3.1%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
8 デンソー	2.9%	日本	輸送用機器	世界的自動車部品メーカー
9 TOTO	2.8%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 花王	2.5%	日本	化学	トイレットペーパー首位
上位10銘柄	38.1%		現金等	9.0%

業種別構成比



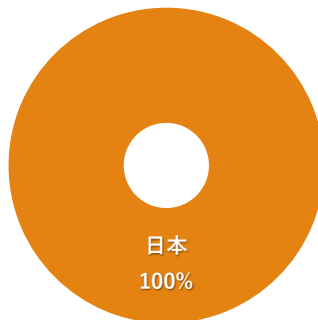
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年12月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



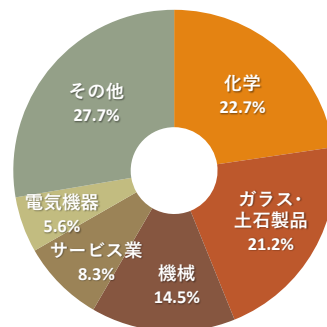
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
太陽HD		日本	化学	プリント配線板用レジスト材等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
竹内製作所		日本	機械	小型建設機械
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、スケーラー
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
ダイレクトマーケティングミックス		日本	サービス業	営業・マーケティング代行等
日本エム・ディ・エム		日本	精密機器	人工関節など医療機器・器具
ニチハ		日本	ガラス・土石製品	窯業系外装材
現金等			現金等	6.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2021年11月末現在 >

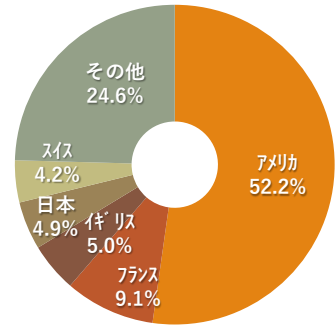
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



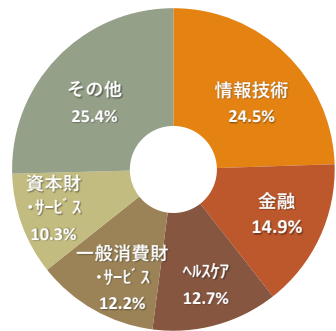
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	2.4%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
3 TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 Broadcom	2.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
5 Apple	1.9%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 Novo Nordisk	1.7%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
7 UnitedHealth	1.6%	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ヘルスケアサービス
8 AstraZeneca	1.4%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
9 Alphabet	1.4%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持ち株会社
10 AIA	1.4%	香港	金融	生保・金融サービス
上位10銘柄	18.3%	現金等	3.6%	

業種別構成比



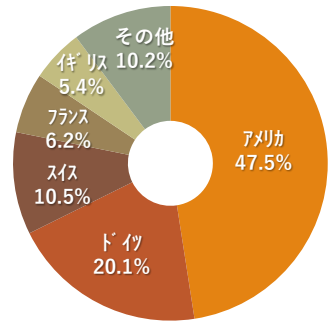
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年11月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



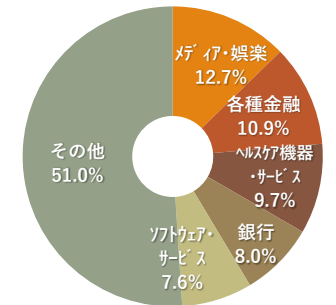
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	7.1%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 BAYER	4.1%	ドイツ	医薬品・バイ	大手化学医薬品メーカー
3 BERKSHIRE HATHAWAY	3.9%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
4 CREDIT SUISSE	3.8%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
5 ALLIANZ	3.7%	ドイツ	保険	総合保険大手
6 BNP PARIBAS	3.6%	フランス	銀行	フランス大手銀行
7 DAIMLER	3.6%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 FISERV	3.4%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	金融機関向け情報処理サービス
9 GLENCORE	3.3%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
10 KEURIG DR PEPPER	3.2%	アメリカ	食品・飲料・タバコ	清涼飲料メーカー
上位10銘柄	39.9%	現金等	2.0%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年11月末現在>

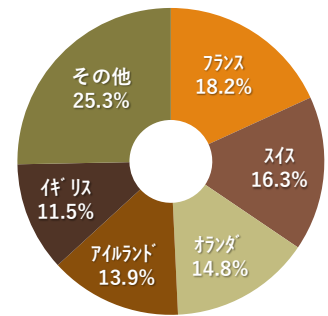
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



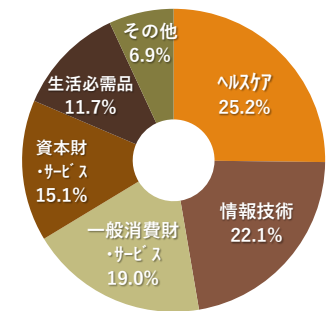
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	6.9%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 NOVO NORDISK	6.3%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 LINDE	4.5%	イギリス	素材	産業ガス世界大手
4 ICON	4.5%	アイルランド	ヘルスケア	医薬品開発受託
5 ACCENTURE	4.3%	アイルランド	情報技術	総合コンサルティング会社
6 EXPERIAN	3.7%	イギリス	資本財・サービス	データ・分析ツールの提供
7 ESSLORLUXOTTICA	3.4%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
8 LVMH	3.2%	フランス	一般消費財・サービス	ファッション等高級ブランド世界大手
9 CHOCOLADEFABRIKEN LINDT	3.0%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品
10 ROCHE	3.0%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
上位10銘柄	42.7%	現金等	4.3%	

業種別構成比(マザーファンド)



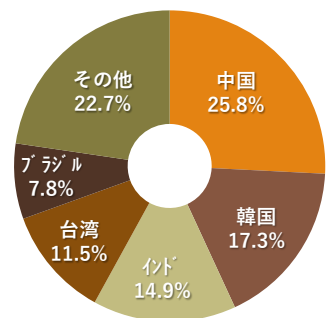
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年12月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



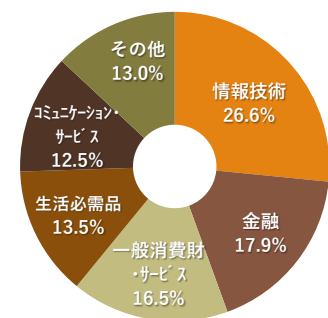
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 TSMC ADR	7.9%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2 SAMSUNG ELECTRONICS	5.7%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
3 HOUSING DEVELOP. FINANCE	5.1%	インド	金融	最大手の住宅開発金融会社
4 COGNIZANT TECHNOLOGY	4.5%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
5 TENCENT	4.3%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
6 INNER MONGOLIA YILI	4.2%	中国	生活必需品	乳製品国内大手
7 FOMENTO ECONOMICO	3.8%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
8 LG HOUSEHOLD & HEALTH CARE	3.5%	韓国	生活必需品	化粧品、日用品
9 MIDEA	3.5%	中国	一般消費財・サービス	家電の製造販売
10 NC SOFT	3.4%	韓国	コミュニケーション・サービス	オンラインゲーム
上位10銘柄	45.9%	現金等	4.8%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2021年12月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

目論見書の改定について

2021年12月25日にユニオンファンドの目論見書を改定いたしました。

【今回の主な改定箇所】

1. 購入申込期間の更新
2. 運用実績情報の更新

※ 新たな交付目論見書、請求目論見書は、弊社ホームページに掲載しています。

※ 今回の目論見書改定において重要な事項に変更はありません。

「目論見書不交付の同意」をされているお客様への新たな交付目論見書の交付は省略させていただきます（交付をご希望の場合は、弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）までお申し出ください。）。

取引残高報告書について

今回、「2021年10月～12月」の期間中にお取引があったお客様を対象に、郵送にてご報告しています。

※残高があるお客様で、前回の「取引残高報告書」作成日以降お取引がない場合には、1年毎のご報告となります。

「お預り証券等の残高明細」の見方

お預り証券等の残高明細（イメージ）

銘柄名	数量	評価金額合計 [a]	運用損益[a-b+c]	円
	基準価額	投資金額 [b]	※a,b,c 及び運用損益は全預り通算で算出	
(預り区分)	評価金額	受取金額 [c]		
(決算日)	取得単価	個別元本		

数量	ユニオンファンドの残高口数です。
基準価額	作成日（2021年12月30日）現在の基準価額です。
評価金額	作成日現在の残高の「評価金額」です。 （「評価金額」＝「数量」×「基準価額」÷10,000で算出されます。）
取得単価・個別元本	これまでユニオンファンドを取得された価額の加重平均です。 一般口座でのお取引の場合は、「個別元本」のみが表示されます。
評価金額合計 [a]	評価金額の合計です。
投資金額 [b]	ご購入された金額の累計です。 ※ 相続等により入出庫があった場合は、入出庫分の購入金額または取得価額に相当する金額が増減されます。
受取金額 [c]	ご解約された金額及び受取分配金額の累計です。 ※ ユニオンファンドは設定来、分配金を出しておりません。
運用損益[a-b+c]	作成日現在の運用損益です。 「運用損益」＝「評価金額合計」－「投資金額」＋「受取金額」

ご不明な点がございましたら、弊社業務管理部（TEL:0263-38-0725）までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。


NOTICE

『これからの投資はどう考える？』セミナー開催

～上がったたり下がったりを繰り返している今の相場、こんな悩みありませんか？～

2020年初めに起きたコロナショック後に1年以上急上昇を続けた株式市場も、ここ半年は上がったたり下がったりの踊り場の様相を呈してきました。市場では各国のテーパリングや利上げが話題となり、インフレ進行は既に肌で感じられる状況にもなっており、世界経済の先行きに不安を感じている方もいるでしょう。

これから投資を始めようと思っている方はもちろんのこと、既に投資をされている方もご自身の評価損益の上下動を見ながら、どうしたらよいものかと疑問や不安を抱えられていることと思います。今回は、そんな疑問・不安の解消に役立つセミナーを行います。

日 時	2022年2月26日(土) 10:30～12:00
会 場	Zoomによるオンライン形式(無料)
定 員	50名(お申込み順)
講 師	ユニオン投信(株) 運用責任者 久保田 徹郎、赤津 正
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の市況と今後の注目点について ・最近よく聞かれるご質問と私たちの考え <p>これから投資を始めるなら、下がるのを待った方がよい？それとも今は始め時？ このままつみたて投資を続けていてよいの？何かよい対処方法はありますか？ 「下がったら追加で買い」をしたいけど、どうやればよいの？</p>
申込方法	<p>以下のリンクまたはQRコードよりお申し込みください。</p> <p>https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZAvcuyopjMtE9W6tku3YlqGenJaQ_ODM7b4</p>  <p>ご登録いただいたメールアドレスに、当日の参加URLが送信されます。 ※メールが届かない場合は、登録アドレスの誤入力や迷惑メール設定(@zoom.usから送信)の可能性がります。設定等をご確認の上、再度上記アドレスからご登録ください。</p>
参加方法	<p>当日は、登録完了案内のメールに記載された参加URLからログインしてください。 Zoomの使い方はこちらをご参照ください。 https://support.zoom.us/hc/ja/categories/200101697</p>

- ・このセミナーは、投資信託その他金融商品についての具体的な説明を行い、その取引を誘引することがあります。
- ・金融商品等への投資は、その価格の変動等により損失を生じることがあります。
- ・金融商品等ごとに手数料等およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書等をよくお読みいただき、ご自身でご判断ください。

個人情報の利用目的 お申込みにあたり入力された個人情報につきましては、お申込みのセミナーに関するご案内およびお問い合わせへの対応ならびにこれらの管理のために利用します。また、弊社が提供する商品・サービスおよびセミナーに関する情報をお客様にご案内させていただくことがございますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱い お客様の個人情報につきましては、漏えい等を防止するため、必要かつ適切な安全管理措置を実施いたします。その他、弊社における個人情報の取扱いに関しましては、弊社ホームページに記載の「プライバシーポリシー」および「個人情報の利用目的」をご確認ください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受取権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。